北九州市人口 91万2308人（男43万942人/女48万1366人）、世帯数 43万7577世帯
若松区人口 7万8030人、世帯数3万4106世帯（令和6年3月1日現在）

4/15
2024
令和6年

わかまつ

編集 若松区役所総務企画課 ☎761・0039 FAX751・6274

●時間は24時間表記。
●料金について記載のない催しは入場無料（参加無料）。
●はがき・往復はがき・電子申請の応募方法は11ページを参照。
申＝申し込み　問＝問い合わせ
共通＝共通の内容　担＝市の担当課
ネット＝ネット窓口（電子申請）

高齢者・障害者あんしん無料法律相談

弁護士が応じます。5月9日㈭13～17時、若松区役所で。対象はおおむね65歳以上の高齢者や障害のある人と家族など。申5月2日までに若松区役所「高齢者・障害者相談」コーナー☎751・4800へ。

福岡県ママと女性の就業支援センターの出張相談

働きたい女性の相談に、専門コーディネーターが応じます。4月23日㈫10時10分～15時10分、子どもの館（黒崎駅西側、コムシティ7階）で。対象は女性の求職者。定員4人。申4月19日までに福岡県ママと女性の就業支援センター☎533・6637へ。

戸畑あやめまつり

ステージイベント、バザーのほか、「戸畑あやめ」が当たる抽選会や四季の花苗プレゼントなどもあり。5月3日㈷10～12時、大谷市民センター（戸畑区東大谷二丁目）で。戸畑あやめ公園（戸畑区西大谷二丁目）までの送迎あり。戸畑あやめを鑑賞できます。問同施設☎881・4151へ。担戸畑区役所総務企画課☎871・2316。

若松区子どもまつり

ゲームやあそび、スポーツ、ものづくり体験、スタンプラリー、ステージイベントなど。4月28日㈰10～14時、グリーンパーク（大字竹並）で。雨天時はステージイベントを中心に開催。施設入場料・駐車場料金が必要。問若松区役所コミュニティ支援課☎761・5324へ。

ケア・トランポリン教室

5月中旬～12月のおおむね毎週月曜日（全24回程度）10～11時30分、古前市民センター（古前一丁目）で。対象は18歳以上。定員24人。申往復はがき（1人だけ）に基本事項と施設名を書いて4月26日までに（一社）日本ケア・トランポリン協会（〒802-0014小倉北区砂津一丁目5-26-201、☎511・6234）へ。担認知症支援・介護予防センター☎522・8765。ネットも可。

北九州市コールセンター

お答えします！

市役所や区役所の手続き、市のイベント・施設等に関する問い合わせなど、市政情報や生活情報についてご案内します。

●どこに尋ねたらよいか分からない時や、土・日曜日、祝・休日でもご利用でき、大変便利です。（1月1日～3日を除く）

093-582-4894

ご利用時間 8時30分～20時

メール・FAX 24時間

FAX 093-582-3318
call-center@kitakyushu-cc.jp

健康だより

問若松区役所健康相談コーナー
☎761・5327

❶食卓相談　健康を考えた食生活の相談に管理栄養士が応じます。希望者には体組成測定あり。5月9日㈭10、11、13、14時。対象は65歳以上。定員各時間1人。

❷離乳食教室　離乳食のすすめ方の話と試食、個別相談。5月21日㈫13時30分～14時45分。対象は生後7カ月～離乳完了（生後18カ月ごろ）の乳幼児と保護者。母子健康手帳が必要。

❸マタニティ講座　2回シリーズで行います。▶第1課＝妊娠中の過ごし方、妊婦健診結果の見方、リラックス法や出産準備ストレッチ、胎内からのデンタルケア。助産師、歯科衛生士による講話と体操など。5月24日㈮13時30分～15時10分　▶第2課＝赤ちゃんとの過ごし方、ママの産後ケア、ママとベビーのすこやかレシピ。助産師、管理栄養士による講話など。5月31日㈮13時30分～15時30分。❸の共通対象は妊婦と家族。体操できる服装で来所を。母子健康手帳が必要。

❹ほやほや赤ちゃん教室　赤ちゃんとのスキンシップの講話や、ベビーマッサージなど。5月31日㈮14～15時30分。対象は生後1～4カ月の乳児と保護者。定員16組。バスタオルと母子健康手帳が必要。

共通若松区役所で。申❷は4月17日～5月13日、❸は4月23日～5月16日、❹は5月1～22日、❶は5月7日までに問先へ。❷❸❹はインターネットも可。

▲❷❸❹の申し込みはコチラ

カラスの威嚇や攻撃にご注意ください

春から初夏にかけてはカラスの繁殖期です。この時期は外敵に対する親カラスの警戒心が特に強く、神経質になるため、巣に近づく人に対して威嚇や攻撃をしてくることがあります。

●できる限り巣に近づかないでください
●巣の近くでは帽子や傘などで頭を守ってください
●ひなや幼鳥が落ちていても近づかないでください

カラスによるゴミ被害を防ぎましょう

毎年、カラスの繁殖時期にかけて、カラスによるゴミの散乱被害が多発しています。ゴミの出し方を工夫して、カラスによるゴミ被害を防ぎましょう。

●生ゴミを減らしましょう
●収集時間を守ってゴミを出しましょう
●生ゴミを見えないようにしましょう
●ネットなどでゴミ袋を覆いましょう

問若松区役所総務企画課☎761・0039へ。

広告の申し込みは㈱キョウエイアドインターナショナル 0120・609・450まで。　※広告内容と北九州市とは直接関係ありません。

VEGETABLE OIL INK
リサイクル適性Ⓐ この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。
本紙は古紙パルプを含む再生紙を使用しています。